

2020年度 事業報告書

2020年1月1日から2020年12月31日まで

認定特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・東京

1 事業の成果

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定していた活動はほとんど出来なかった。日常的なスポーツトレーニングプログラムや文化プログラムは、2月下旬から9月末まで活動を休止、大会等では2月に予定していた北海道での冬季競技の全国大会への派遣を中止、さらに2年に一度の夏季競技の地区大会の開催を中止した。知的障害のある人たち(以下、アスリートという)にとっては、日頃のトレーニングの成果を発表する機会がなくなり、活動が休止になったことで心身共に大きなストレスを感じるアスリートも多く見受けられた。

そして、10月からは、プログラムの運営の現場では密を避けて接触を減らすようにして、ボランティアコーチたちがトレーニング内容を工夫して本来のスポーツからはほど遠い形で活動を再開した。また、一部ではオンラインを活用した簡単な運動・エクササイズ等のプログラムの取り組みを積極的に行い、オンラインを活用することで、自宅にいながら体を動かす機会を提供できた。2019年度と比べると活動の機会はかなり少ない状況となったが、できる範囲で工夫をして活動の機会を提供できた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)	
(1) 知的障害者に対するスポーツ事業	① スポーツトレーニングの実施	日常的にスポーツトレーニングプログラムを実施する ※詳細別紙(A)参照	日常定常的(年間を通して実施、主に土日)	都内公共施設 他	V / 602名	A・P / 1,221名	5,157
	② スポーツ大会の実施	(共催) 2019年第6回SO日本 関東ブロック フロアホッケー競技会	2月2日	千葉ポートアリーナ	V・F / 6名	A / 25名	-
	③ スポーツ大会への派遣	【アルペンスキー、フィギュアスケート、 ショートトラックスピードスケート、フロア ホッケー】 2020年第7回SO日本冬季ナショナル ゲーム・北海道	実施中止	-	V・F・S / 21名	A / 55名	889
		【陸上競技】 第38回JBMユニファイドラン	12月13日	日産スタジアム	V / 3名	A / 4名	-
(2) 知的障害者に対するスポーツ指導者の育成事業	① コーチクリニック(認定コーチ養成)	ショートトラックスピードスケート	1月11日	江戸川区スポーツランド	V・S / 3名	F・V / 10名	4
		ゼネラルオリエンテーション&アスリート理解	1月11日	江戸川区スポーツランド	V・S / 3名	F・V / 9名	
(3) 知的障害者に対する英会話、合唱、音楽等の文化活動支援事業	① 講座開催事業 文化プログラム講座を実施する ※詳細別紙(B)参照	随時	国立オリンピック記念青少年総合センター/スマイル中野/東京都障害者総合スポーツセンター/岡本るみ子バレースタジオ/他 都内公共施設	V / 36名	A / 183名	41	
(4) 知的障害者に関する一般社会の理解をより深めるための広報・啓発・普及事業	① webページの開設運営	webページの制作、運営、更新	随時	法人事務所、ボランティア自宅	V・S / 20名	一般対象 不特定多数	581
	② 出版物の発行	ニュースレター発行 ポスター、チラシ制作	年3回 (4月、8月、12月)	法人事務所、ボランティア自宅	広報委員会 / 8名	A・F・V・一般 10,000名	
	③ 普及活動	アスリート入会 オリエンテーション	毎月3回	法人事務所 ※月1回八王子会場にでも開催	S / 4名	新規入会希望者 43名	
		ボランティア説明会	2月15日	法人事務所	V / 委員会 5名	一般	
		学校連携プログラム (ファミリー講演)	11月20日	杉並区立中瀬中学校	F・S / 3名	同校教師・生徒 約150名	
		企業・団体向け説明会	随時	企業・団体関連施設	S・FR委員会 / 10名	一般	
会員管理システム構築・運用		通年	法人事務所/有限会社ユアーズ	S / 4名	A・F・V 約4,000名		

※A:アスリート、F:ファミリー、P:パートナー、V:ボランティア、S:スタッフ、FR:ファンドレイジング

(2) その他の事業

実施せず